

地図もポストも、トレインの公園さえも出来たてのピッカピカ。軽めのコースに心も軽くなる。

国営讃岐まんのう公園「コース」
香川県 No.9 JOA公認 No.782
4.4 km 12 ポスト

香川県のメジャー公園

前回の愛媛県「桜井」コース終了後、クアハウスにも入らずに向かったのが、今回紹介する「国営讃岐まんのう公園」コースです。

今治小松自動車道の終点（西瀬戸自動車道と接続予定）となっている「今治湯ノ浦IC」から松山自動車道と高松自動車道を乗り継いで「普通寺IC」を目指します。

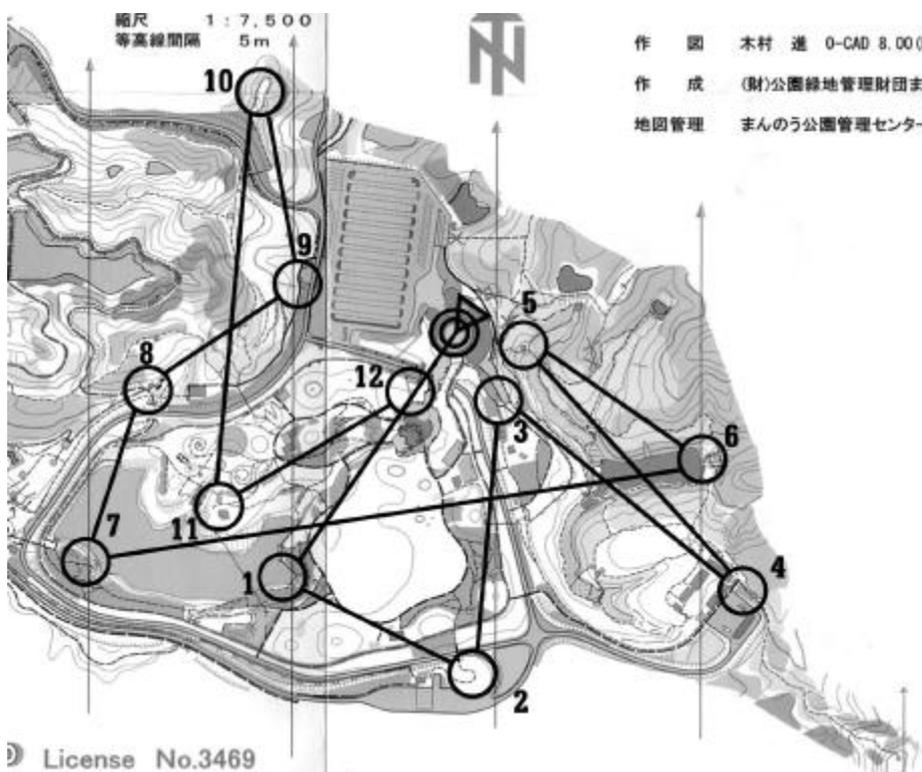
PC巡りで初めて香川を訪れたのが9年前。そのとき回ったのが「普通寺」コースでした。出張を利用して歩いた当時のことを思い出しながら、倉敷で借りたレンタカーを走らせます。一般道に下りたのはちょうどお昼頃。カーナビを確認するまでもなく道々に案内があり、地元では相当なメジャースポットであることが窺い知れます。普通寺インターからは25分。公共の交通機関が公園まで通じていないため、電車で向かう場合は、JRもしくは琴電の「琴平」駅からタクシーとなります。案内によると15分程の所要です。

公園の開設は平成10年4月。日本一の灌漑用溜池である「満濃池」を見渡す丘陵地帯にあり、当初は一部の敷地のみでスタートしました。その後徐々に整備が進められ、現在の面積は111ha。今後まだまだ拡大していくようです。

公園のある「まんのう町」は香川県南西部、徳島県との境に位置しています。平成18年3月20日に満濃町、琴南町、仲南町の3町が合併して誕生したのが、平仮名表記になった新生「まんのう町」です。

できたてホカホカ 新コース

町の誕生より遅れること3ヶ月。パーマネントコースが公園内に設置されたのは6月のこと。06年度唯一の新設コースとなったこのコース。現時点での最新コースになります。



作 図 木村 進 0-CAD 8.00(L)
作 成 (財)公園緑地管理財団等/
地図管理 まんのう公園管理センター

駐車場代 310 円と入園料 400 円を支払って中央駐車場に到着。エントランスの横では、満濃池の竜神伝説にちなんだ銀色の龍が出迎えてくれます。公園のマスコット「ドラ夢(む)」も龍をモチーフにしたキャラクター。PCマップにもしっかり登場しています。



入口にある竜のオブジェ

コースは開設したもののマップの完成は遅れ、私が訪れた直前になってよ

うやく納品されたようです。案内所で入手したマップには予めコースが印刷されています。マスターマップの必要はありませんが、案内板は案内所裏にある椿の垣根の前に設置されています。いつもの案内板ですからオリエンティアにはすぐ分かりますが、一般の来園者にはちょっとアピール不足。コース名やナンバーが記載されていないことも、減点ポイントです。

園内ポストだらけ

マップの縮尺は公園コースらしく1:7,500。以前の国土地理院複製マップと比較すると、なんとも親切になったものです。わずか4.4kmという短い設定にもかかわらず、12箇所もポストが設置されています。しかもこのコース、これ以外に18基ものポストが置かれています。縮めて30箇所。目を転じればそこにポストがある、という仰天のセッティングです。PC以外のポストは地図に印刷されていません。PC初体験という場合は逆に混乱してしまうのでは、とちょっと心配になったりもします。

本日2コース目、12時51分にスタートします。サークル状のエントランス

広場から「石垣のヴィスタ(展望・眺望の意)」を歩いて「昇竜の滝」に出ると、早速ポストがありました。第1ポスト発見前に公認コース以外のポストを発見してしまうと何とも気の抜ける思いがするのは私だけでしょうか。それにしても、これ以上ないというピカピカなポストは、それだけで興奮ものではあります。

ジグザグコース

目指すポストは芝生広場の周回道路を南に向かい「飛竜池」の東端に置かれています。マップでは池の中にポストがあることになっていますが、これは間違い。正しくは丸太の階段から池の淵に作られたウッドデッキの入口です。

第2ポストは芝生広場に戻り、道なりに東に向かいます。この時もコース以外のポストを遠目に確認。途中から小道を南に向かうと道路を渡る橋があり、芝生の丘にあるポストも見えてきます。このポストは車で来ると、料金所に入るところで嫌でも目に留まります。

芝生広場に戻り「竹風庵橋」を渡ると茶室や陶芸工房のある一帯に入ります。この途中でも2つのポストを発見。「自然生態園」エリアとの境には竹垣が築かれていて、第3ポストはその垣沿いに置かれています。

第4～6ポストは「自然生態園」内。地図ではすぐ隣にあるこの生態園も、

竹垣に仕切られすんなり入ることができません。サイクリングロードをたどって南側から回り込むと、ようやく入口的な建物である「自然生態展示館」に到達します。第4ポストは駐車場の角。展示館では、溜池のある里山の自然環境と人の関わりが学習できます。

第5ポストは「北の谷」と呼ばれる休耕田を巡ります。ここは稲作をやめた後の生態系を観察するために環境保護を行っているところ。最も奥にあるあずま屋の裏にポストが置かれています。

1周してもとの場所に戻り、第6ポストは「逆様池」東端で発見。池では珍しい水生植物がたくさん分布しているそうですが、通りかかっただけではさすがに分かりません。このあたりから、スタート時の晴天からは思いもしなかった雨がポツポツと降り始めます。

第4ポストの前に戻り「自然生態園」を後にします。ちなみに、この第4ポストから続く、マップの東端に記されている「見はらしの山展望台」にもポストが設置されています。「満濃池」の眺望を楽しみたい方は、足を伸ばしてみてもいいかもしれません。第7ポストは一気にコース西端へ移動。第2、第1ポストの近くをすり抜け、再び「飛竜池」畔へ。雨も激しさを増し、1時間前に同じ池の端にいた頃ののんびり感はどこへやら。後半は忍耐モードとなってしまいます。

使用頻度の低い記号の第7ポストを

確認し、サイクリングロードに沿って北に向かいます。トンネルを潜った先にある第8ポストは、アスファルトのサイクリングロードと歩道の間に堂々と立っています。

中央駐車場を挟んで反対側の山裾にて第9ポストを確認し、更に北の丘の上にある「風の見える丘展望台」の第10ポストに到達します。この時は風というよりも雨粒ばかりが目に入ってきましたが...

第7ポストからじわじわ北に向かつて展望台にたどり着いたのに、次の第11ポストはまたまた「飛竜池」まで戻ってきます。狭いエリアをいかに巧みにコース設定しているかお分かり頂けるでしょうか。「ふわふわドーム」といった子供向けの遊戯施設の集まる「竜の子ひろば」を抜けていくとポストに到達します。この時間、雨の影響で子供の歓声はなく、静まり返っていました。

そして最終ポスト。第1ポストに向かうときに歩いた「石垣のヴィスタ」のすぐそばにありながら、まったく姿が見えなかったポスト。一体どんなところにあるのだろうと興味津々です。緑のラインで記されているのは生垣。トンネルを見下ろす格好で、ポストは生垣の前に置かれていました。確かにここなら最初に見つけてしまう心配はありません。うまい具合に立てたものだと感じしきり。最終ポストからゴールはすぐそばです。

4.4km とは思えない回り応えを堪能しつつ、園内の心弾む楽しさも同時に味わえる好コースでした。

公認コースばかりではなく、他の18ポストを組み合わせてまた別のコースを独自に編み出せば、何度でも楽しめる場所になることでしょう。

天気予報をばっちり確認して、晴れた日にゆっくりと巡ってみましょう!

(2007年1月6日 踏破)

(大高竜亮)



5番ポスト。風情のある、あずま屋の横に佇む